

学友会報

発行
兵庫県立大学 学友会
神戸市西区学園西町8丁目2-1
電話 078-793-5081

兵庫県立大学創立 20 周年・創基 95 周年記念式典

兵庫県立大学は、平成 16 年 4 月に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の県立 3 大学が統合して開学し、令和 6 年度に創立 20 周年を迎えることとなりました。加えて、県立の高等教育機関として開学時期が最も早い県立神戸高等商業学校（神戸商科大学の前身）の開学（昭和 4 年）を「基（もと）」と捉え、創基 95 周年となります。



記念式典 式次第

- ・開式
- ・オープニング演奏
- ・学歌斉唱
- ・式辞
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介
- ・映像紹介
- ・「兵庫県立大学ビジョン 2036」発表



→<https://www.u-hyogo.ac.jp/about/project/>

創立 20 周年・創基 95 周年記念誌 県立大学の歩み

→<https://www.u-hyogo.ac.jp/about/publications/index.html#id-ayumi>

長年支えてくださった皆様に感謝の意を表するため、11 月 17 日（日）に ANA クラウンプラザホテル神戸にて記念式典・座談会が開催され、当日は約 300 名の方が参加しました。

式典の司会・進行は株式会社サンテレビジョンの小松田梓左氏（2017 年経営学部卒）に務めていただきました。

はじめに、ストリングオーケストラ部がシベリウスの「アンダンテ・フェスティーフォ」とバッハの「カノン」を演奏し、式典に花を添えました。次に、看護学部 2 年生の 4 名と環境人間学部 2 年生の 1 名が代表学生としてステージ上で学歌を斉唱しました。

主催者を代表して國井総一郎理事長が式辞を述べ、大学の役割である教育・研究・社会貢献のうち、社会貢献について言及しました。一層強力に進めることを目的に、今年 4 月から産学連携・研究推進機構と地域創造機構が統合して「兵庫県立大学社会価値創造機構」として新たに活動を始めたことを紹介しました。「私たちは大学の役割である教育・研究・社会貢献で一步先を行く兵庫県立大学を目指していきます」と述べ、式辞を結びました。続いて、服部洋平兵庫県副知事、浜田知昭兵庫県議会議長、伊藤学司文部科学省高等教育局長、浅井清文一般社団法人公立大学協会会長から祝辞をいただきました。

来賓紹介と紹介映像上映の後、高坂誠学長が式典参加者の方々と兵庫県立大学を支援いただいている全ての方々に向けて謝意を表し、その後、将来構想『兵庫県立大学ビジョン 2036（ニセンサンジュウロク）』の発表を行いました。これは、大学創設時の基本理念や、兵庫県立大学創基 100 周年ビジョン（2014 年に策定）を基本に据えつつ、コロナ禍や国際情勢、地球環境の急激な変

化を踏まえ、公共財としての大学の進むべき進路・役割を明確にし、新たな社会価値創造へつなげるために取りまとめたものです。式典では、兵庫県立大学ビジョン 2036 の全体版冊子と概要版を配り、概要版に沿って内容の説明が行われました。

座談会は「地域の未来、兵庫県立大学の役割—これからの兵庫県立大学へ期待すること—」をテーマに行われました。川崎重工業株式会社 代表取締役副社長の中谷浩氏、株式会社みなと銀行 取締役会長の服部博明氏、姫路市長の清元秀泰氏、NHK 神戸放送局長の福田和代氏にご登壇いただき、畑豊副学長がモデレーターを務めました。4 名の方々からは『教育』『国際競争力の低下』『大学と企業の連携不足』『地域の連携不足』についてお話しいただき、その後、活発なディスカッションが行われ、盛況のうちに閉会しました。



丹後大学駅伝

11月16日に開催された第86回関西学生対校駅伝競走大会に2年ぶりに出場することができました。結果は出場21チーム中21位と、皆様の期待に応えられるような結果とはなりませんでしたが、



今年はほとんどのメンバーが記録審査に必要な10000mのタイムを持っておらず、ほとんど0からの挑戦になりました。なんとか本戦への出場権を得られたものの、出るのがやっとで全く戦えませんでした。この悔しさを糧に来年は経験を詰んだ1、2年生達が飛躍すると期待しています。来年こそ好成績を残せるように頑張りますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。(陸上競技部)

井上明久氏 瑞宝大綬章受章記念祝賀会



7月13日(土)12時よりホテルモントレ姫路にて、姫路工業倶楽部有志による“井上明久氏 瑞宝大綬章 受章記念祝賀会”が開催されました。

多年にわたり東北大学長等として教育に尽力するとともに、金属材料学の研究に優れた業績を挙げ、学術の発展に貢献したとして、令和6年春の叙勲において瑞宝大綬章を受章しました。

当日は、姫路工業倶楽部元理事長の森氏による開会挨拶に始まり、県立大学の高坂学長や國井理事長等からのご祝辞、畑副学長の閉会挨拶まで、盛大な会となりました。

令和6年度学友会理事会

5月23日に学友会理事会が行われました。審議事項は次のとおりです。

1. 令和5年度事業及び決算報告
2. 役員人事
3. 令和6年度事業計画及び予算

審議の結果、全ての議案について承認可決されました。新役員は以下のとおりです。(敬称略)

会長	岡村 武和	木下 康子
副会長	辻井 浩一	
理事	高尾 直樹	
	大内 紗也子	
	辻 義弘	小川 佳宏
	村上 耀紀	清水 理功
	草薙 真一	飯田 久夫
監事	岡本 俊二	西埜 増宏
顧問	高坂 誠	瀧川 博司

井上明久氏 経歴

昭和45年	姫路工業大学金属材料工学科卒業
昭和51年	東北大学大学院工学研究科 金属材料工学専攻博士課程修了
昭和51年	東北大学金属材料研究所助手
昭和60年	東北大学金属材料研究所助教授
平成2年	東北大学金属材料研究所教授
平成9年	東京工業大学精密工学研究所教授(併任)
平成12年	東北大学金属材料研究所長
平成14年	日本学士院賞
平成17年	スウェーデン王立工科大学名誉博士
平成18年	産学官連携功労者表彰「内閣総理大臣賞」
平成18年	日本学士院会員選定

県大バス 活躍

県大バスは平成31年より導入し、フィールドワークやゼミ活動をはじめ、課外活動等においても本学の学生・教職員が幅広く利用しています。現在は附属中高も含めて、各キャンパスから連日の利用申込があり、時期によっては予約の取り合いになるほどです。

9月には業界・企業や仕事への理解を深め、低学年からキャリア形成のビジョンを描くことを支援するため、県大バスを使って工場見学・企業訪問を行うバスツアーを実施しました。様々な学部・研究科からのべ40人が参加し、参加した学生からは、「会社のHP等を見るだけではわからない企業の実態が、オフィスに行き社員の方から話を聞かせていただくことで、よりリアルな職場環境や働き方を知ることができた」「自分の興味の有無に関係なく、様々な分野の職や企業について積極的に情報を取り入れようと思う」等の感想が聞かれました。実際に企業を訪問し、先輩の話を聞くことで、学生達は多くの学びが得られたようです。この経験を、それぞれの就職に活かしていただきたいと思います。

※県大バスの運行には、学友会からの寄付金が役立てられています。(兵庫県立大学事務局教育企画課)



《五 国 豊 穡》～県立大学のお宝紹介～

姫路環境人間キャンパス 講堂

国登録有形文化財、都市景観重要建築物等(姫路市) 建築年代:大正15年(1926)10月30日 外観は下見張り、トスカナ式の角柱をもつ玄関ポーチとその上部の切妻破風を両脇の角塔が挟む左右対称の立体構成です。内装は柱や手すり、天井などに木工細工の細かな装飾が見られ、ステージの背後には半円形の石造りの白いアーチが残されています。全体のデザインは幾何学的な図形を組み合わせたセセッション風のもので、大正モダンな雰囲気を伝えるものとなっています。



住所等の変更は、学友会事務局へご連絡をお願いします。

同窓会活動の推進を図る目的のために保有する学友会会員の個人情報については、個人情報保護法の主旨に則り、適切な管理を行っています。

〒651-2197 神戸市西区学園西町8丁目2-1 兵庫県立大学神戸商科キャンパス内

Tel&Fax:078-793-5081

E-mail:gakuyuukai@gk.u-hyogo.ac.jp

<https://www.gakuyuukai.org/>